

活動組織名	富岡環境保全協議会		
○付け	活動内容（※該当する項目すべてに○をつけてください）		
○	農地維持活動		
○	資源向上活動（共同）		
○	農村環境向上活動	啓発・普及（地域住民との交流活動、学校教育等との連携 など）	
		生態系保全（生物の生息状況の把握、外来種の駆除 など）	
		水質保全（水質モニタリングの実施・記録管理 など）	
○		景観形成・生活環境保全（景観作物の施設への植栽、定期的な清掃 など）	
		水田貯留機能増進・地下水かん養（水田の貯留機能向上活動 など）	
		資源循環（地域資源の活用・資源循環のための活動）	
○	多面的機能の増進を図る活動	農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化	
○	資源向上活動（長寿命化）		
活動(行事)名	通信の発行		
実施場所	富岡地内		
実施日	令和3年5月16日15号 11月28日16号 令和4年2月1日17号		
参加者	農業者	182名	その他個人(農業者) 0名
	非農業者	36名	その他個人(非農業者) 0名

〔活動の内容〕

農地維持活動から始まった組織は、多面的機能支払交付金を活用する活動へと変わっているが、理解が進んでいないのが現状である。農業者の高齢化と農業承継が滞りがあって、組織活動が停滞している。

富岡環境保全協議会の活動を啓発し、理解と協力を得るために「富岡環境保全協議会通信」を発行している。

〔参加者の感想など〕

富岡環境保全協議会の名称と活動についての関心が高まっている。今後は、関心の高まりを機会に、活動へ直接参加される人数が増えるように工夫したい。

第15号 令和3年5月16日

富岡環境保全協議会通信

事務所
関市肥田郷3246
会長 早川 統一
電話 22-7818

田植えの最中となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた活動が続いていますが、初夏の訪れとともに、代掻きを終えた水田には、いつものように多様な生き物が現れるようになりました。富岡地区の豊かな自然環境と農地を次世代に引き継ぐために、自然と調和を図りながら、田畑とその施設を継続的に手入れすることが富岡環境保全協議会の目指すところです。

農地の役割は作物の生産とともに、雨水を一時的に蓄えて水害を防止したり、河川の流れを安定させたり、地下水を蓄えたり、四季折々の風景で人を和ませたり、地域に引き継がれた文化を育んだりしています。富岡環境保全協議会の活動は、地域にとって大切な役割を果たしていると思います。今年度は、5年計画の最終年度になります。構成員の皆様のご参加をお願いします。

令和3年度の通常総会の報告 5月12日(水) 富岡ふれあいセンター

令和2年度活動報告(一部)

富岡「農地・水」環境保全隊による「直営工事」を実施することが出来ました。今までに、2回の補修研修会を実施した成果を発揮することが出来ました。



破機ひ手漕(ひ手漕5本)の交換工事(12人参加)



排水路活面(長さ38m幅35cm厚さ10cm)のコンクリート打ち工事(12人参加)



ひ手漕65本の日常補修と排水路2か所の交換工事(総べ16人参加)

富岡小学校5年生の稲作体験を支援しました。コロナ禍でしたが稲刈り体験は実施できました。



総合的な学習の時間(農地の持つ多面的機能紹介)



秋の稲刈り体験(収穫した米は、全校児童に配られました。)



令和2年度活動報告地蔵ども支援賞

〔第16号 令和3年11月28日〕

通信 P.3

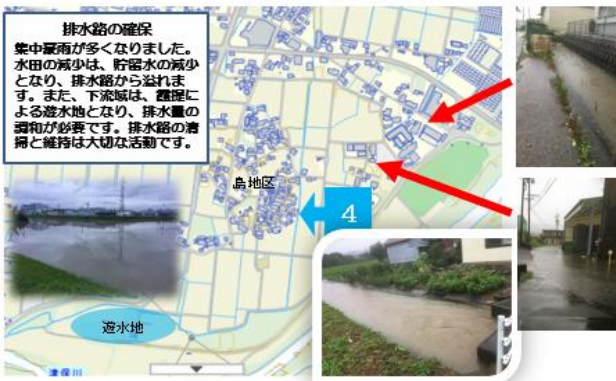
肥田瀬南部土地改良区内



令和2年度直営工事終了

排水路の確保

集中豪雨が多くなりました。水田の減少は、貯留水の減少となり、排水路から溢れます。また、下流域は、灌漑による遊水地となり、排水量の確保が必要で、排水路の清掃と維持は大切な活動です。



島地区

遊水地